



Topics ～循環器診療に役立つ、最新の話～

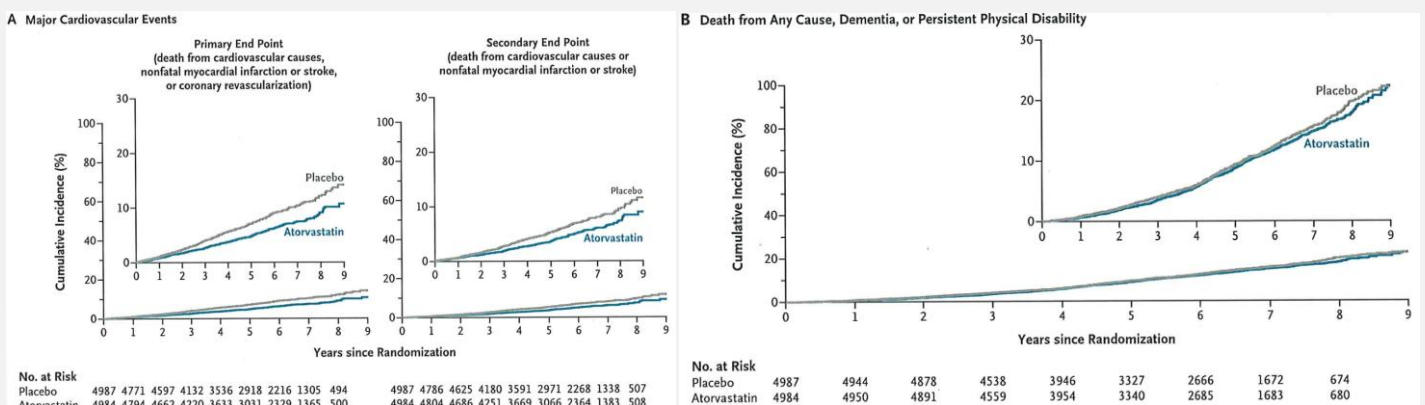
脂質異常症に対する最新の知見 — 高齢者の一次予防とSTAREE試験 —

2020年のCARDIA研究では、若年期のLDL-C累積曝露($\text{LDL-C} \times \text{years}$)が、その後の心血管イベントと関連しました。つまり、LDL-Cは「現在の値」だけでなく、曝露期間も重要と考えられています。したがって若年の脂質異常症の患者様、特に家族性高コレステロール血症の患者様には早期から積極的にLDLコントロールを行う必要がありますが、高齢者の場合では、今から下げても遅いのでしょうか？

2026年8月、ESC Congress 2026でSTAREE試験が発表され、同時にNew England Journal of Medicineに掲載されました。心血管疾患、糖尿病、認知症のない70歳以上9,971例を対象に、Atorvastatin 40 mg/日群とPlacebo群を比較、平均年齢は74.7歳で、80歳以上も15.3%含まれていました。中央値5.9年の追跡で、主要心血管イベント(MACE)は6.0% vs. 8.3%、HR 0.70と、Atorvastatin群で約30%減少しました(NNT=37)。治療前の平均LDL-Cは 126 ± 28 mg/dLで、Atorvastatin群では追跡中に平均約48 mg/dL低下しました。

一方、死亡・認知症・持続的身体障害を合わせたdisability-free survivalには有意差を認めず、健康に長く生きることへの効果は明らかではありませんでした(死亡症例の80%は非心臓死)。重篤な有害事象は両群2.7%と差を認めませんでした。スタチンの副作用には注意して使用する必要があります。

今回のSTAREE試験は、70歳を超えてからの脂質低下治療にも心血管イベント抑制の可能性を示し、高齢者の脂質管理について改めて考えるきっかけとなる知見といえそうです。



Zoungas S, et al. N Engl J Med. 2026.

Domanski MJ, et al. J Am Coll Cardiol. 2020;76:1507-1516.

文責 西脇 湊

各部署からのお知らせ —臨床工学科—



当院の臨床工学科は、生命を支える医療機器の専門職として、安全な医療を支えています。心臓カテーテル治療や心臓手術、集中治療、呼吸療法、透析など幅広い診療に携わり、専門知識と技術を磨いています。医師や看護師をはじめ多職種と連携し、医療機器を安全に活用しながら患者様が安心して治療を受けられる環境づくりに努めています。これからもチーム医療の一員として、確かな技術と責任をもって患者様の生命を支えてまいります。

過去のハートチーム通信はこちら →

